

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

4月中旬、長野市内で開催された長野オリンピック5市町村調整会議OB会に参加するため長野に向かう。「日本で最も美しい村

で注目された桜守の育成もこれからの課題なのだろう。

OB会場では懐かしさで会場が盛り上がる。オリンピック当時、長野市・山ノ内町・軽井沢町・野沢温泉村・白馬村の5市町村

実現した会だった。80歳を超えるメンバーからは「これが最後のかな」との寂しい声も聞こえてくる。だがメンバーには、2012年当時の鷲沢正一市長が「副市長の任務分担プロジェクト」と話題になった時に市産業振興部長から副市長に選任された樋口博さんも現在副市長として活躍。観光と農業で、トップセー

で活躍しているメンバー。当然、当時を懐かしむ者、今お互いを語る者、参加者にプレゼントされた2020年の東京オリンピッククガイドブックで熱き想いを語る会場は、20



98年の戦友との交流は忘れられない
当時を鮮明に思い出す

連合」に加盟している小川村の村内では、いたるところで山桜が咲き誇り、残雪の北アルプスに抱かれた日本の原風景を見る度に毎年心が和む。良寛和尚さんの「散る桜 残る桜も 散る桜」の辞世の句を懐かしく思い出す。小川の地域の皆さんの、いたる所に新たな桜が植樹されている取り組みが感動として感じられる。

私達が暮らす里にも桜は貴重な財産だ。先人が地域を想い植樹した桜の多くが年数を積み重ね、残念だが樹皮

の担当者調整会会議で知り合ったメンバーが、オリンピック終了後から2004年までOB会を7回開催し中断していた会を20周年の節目のごとし、当時課長や係長職にあったメンバーに声かけて

で注目された桜守の育成もこれからの課題なのだろう。

OB会場では懐かしさで会場が盛り上がる。オリンピック当時、長野市・山ノ内町・軽井沢町・野沢温泉村・白馬村の5市町村

年前を思い出してしまおう。お互い、再会できる事を願いながら帰路についた。
(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

人とのつながりも地域の守るべき景観も積み重ねが大切だ

上に褐色などの糸膜ができる「こげやく病」や、高い木の上に巢のような形ができる事で名づけられた「てんぐ巣病」に侵された桜の木々が目立つようになってきている。次の世代に素晴らしい景観

を伝えて行くためにも、新たな桜の名所となっている白馬村新田地域の伝行山地籍での地域の取り組みが地域全体に広がってほしい。そのためには、吉永小百合さんが主演した「北の桜守」の映画

を伝えている。次の世代に素晴らしい景観を伝えて行くためにも、新たな桜の名所となっている白馬村新田地域の伝行山地籍での地域の取り組みが地域全体に広がってほしい。そのためには、吉永小百合さんが主演した「北の桜守」の映画

を伝えている。次の世代に素晴らしい景観を伝えて行くためにも、新たな桜の名所となっている白馬村新田地域の伝行山地籍での地域の取り組みが地域全体に広がってほしい。そのためには、吉永小百合さんが主演した「北の桜守」の映画

を伝えている。次の世代に素晴らしい景観を伝えて行くためにも、新たな桜の名所となっている白馬村新田地域の伝行山地籍での地域の取り組みが地域全体に広がってほしい。そのためには、吉永小百合さんが主演した「北の桜守」の映画

を伝えている。次の世代に素晴らしい景観を伝えて行くためにも、新たな桜の名所となっている白馬村新田地域の伝行山地籍での地域の取り組みが地域全体に広がってほしい。そのためには、吉永小百合さんが主演した「北の桜守」の映画